特定非営利活動法人 GNC Japan
http://www.kyouzon-gnc.com

２０１８年度
ＧＮＣ活動報告

バヤンチャンドマンの苗畑で育てた苗をボルノール市へプレゼントして、一緒に植えた。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

モンゴルの春祭り「ハワリンバヤル２０１８」

【開催日時】
５月４日(金) １１時～１７時
５月５日(土) １０時～１６時
【会場】
都立光が丘公園　けやき広場（光ヶ丘図書館前）

５月４日と５月５日に、１９９８年の第１回開催から数えて、今年１８回目となるモンゴルの春祭り「ハワリンバヤル２０１８」が開催されました。
１８回目を迎える今年のテーマは「可能性を秘めた若いモンゴル、大好きな日本に抱いた夢」です。
テーマの説明は「昔ながらの遊牧文化を誇る大草原の国モンゴル、その文化や人々の生活様式は、日本から見ると不思議に思うことが多いかもしれません。しかし、そのような独特の文化を持つモンゴルも、民主化から２６年を経て急速に成長しつつあります。人口の７割は４０歳以下で、さまざまな可能性を秘めた若い国でもあります」
今年も当日は晴天で、多くのお客様が来てくださいました。
ハワリンバヤルは、スタッフとの久々の出会いの場でもあり、またいろいろな方との出会いの場でもありました。
テーマの説明は「モンゴル国では 25 歳以下が人口の 44%を占めており、国は若者の教育を支援し、先進国への留学などで最先端の技術や知識を身につける機会を提供しようとしています、多くの若者たちが先進国で学んだ知識を、うまく取り入れていくことはモンゴル国の発展につながるでしょう」

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

ボルノール市への苗木寄付

【日時】
2018 年 5 月 28 日　10:00～17：00
【場所】
中央県ボルノール市の学校、病院、幼稚園、市役所、市民ホール
【スタッフ】
オグナー（GNC Mongolia　森林・農場・苗畑担当　男性）
サラ（GNC Mongolia　森林・農場・苗畑担当　女性）
【活動内容】
ボルノール市 80 周年記念イベントの一環として、バヤンチャンドマンの苗畑で育てたハリス 1000 本とシャルホワス 1000 本の苗、合計 2000 本をボルノール市の学校、病院、幼稚園、市役所、市民ホールにプレゼントをした。学校では学生とＧＮＣスタッフが一緒に植えた。施設の方より「苗木をプレゼントしてもらえてとても嬉しい。木を植えるのは心が豊かになるし、楽しい」と、とても喜んでもらえた。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

第１７回 ＮＧＯ合同研究&活動報告会

【開催日時】
２０１８年6月１０日（日）１５：００～１７：００
【会場】
東京都港区南青山２丁目２−１５　ウィン青山内
ワンストップビジネスセンター青山本店　会議室
【プログラム】
１．開会挨拶
２．各団体報告（以下参照）＆質疑応答
３．意見交換
４．閉会挨拶
【発表団体】
『一般社団法人地球緑化クラブ』
活動地：中国モンゴル自治区モウス砂漠、モンゴル国セレンゲ県
http://www.ryokukaclub.com
発表者：原 鋭次郎氏（地球緑化クラブ 代表理事）
テーマ：「モンゴルでの新規緑化事業　生態混交造成プロジェクト～セレンゲ県マンダラ蘇木トングリ村～」について
<トングリ村にて活動を始めた経緯>
・中国人モンゴル族スタッフ２名による現地視察
・トングリ村のコミニュティーグループ「イエテン」から支援要請「村の近郊にある山々の木々は違法伐採により、山がはげ山化した、かつての生態系豊かな森を取り戻したい」表土が流出または風食する前に緑化が必要、土地２５０ha を無償で借り保護を開始、保護は出来ても回復させることが出来ない。
・２０１５年５月に植林活動、はげ山を生態混交林にするため複数種の苗木を植栽
<２０１６年から２０１８年に行った植林活動>
・高木：カラマツ、シベリアマツ
・低木：ニンティアオ、エゾウワズミザクラ
・育苗：カラマツ、シベリアマツ、ニンティアオ、エゾウワズミザクラ
<２０１８年春以降の予定>
・高木：カラマツ、シベリアマツ
・低木：ニンティアオ、エゾウワズミザクラ
・自然繁殖：シラカバ、他
<育苗事業>
・高木類のポット苗及び実生からの育苗

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

・低木類の播種、育苗

<小学校での環境教育>

・GNC の矢野さんから頂いた絵本を活用

・５年生を対象にトングリ村の１０年後を描いてもらう、一緒にモンゴル国へ来た日本人が気に入った絵を選び、１枚３,０００円で購入する。

・一緒にモンゴル国へ来た日本人が文房具を１万円分寄付（１人あたり１,０００円）

・協力企業に選考してもらい、３名にカバンなどの賞をあげる

[中国モンゴル自治区モウス砂漠での活動開始]

・これまでに活動していたクブチ砂漠に最も近い砂漠

・人為的に砂漠化した地域

・新たに臭柏（シュウハク）を用いた生態混交林の造成（砂漠の進行を止める）

・植林用に直径３０ｃｍのドリル購入、価格は５万円、作業の高速化

・肥料入りポットに苗木を入れる、倍以上の活着率（１０００枚/１００円）

[乾物ドライカレーパンプロジェクト]

・料理研究家が中心となりスタート

・今年から６月第１土曜日は「乾物カレーの日」

・売り上げの一部を砂漠緑化活動に活用

・乾物ドライカレーパン以外に乾物カレーも対象

・協力店舗２０１７年３６店舗→２０１８年５４店舗（カレー販売店）　協賛企業４社

【発表団体】

『特定非営利活動法人 GNC Japan』

活動地：モンゴル国・日本国

E-mail: kyouzongnc@gmail.com　http://www.kyouzon-gnc.com

発表者：高橋 京子氏（事務局長）

テーマ：２０１８年活動報告

GNC Japan がモンゴル国セレンゲ県トジーンナルス(果てしないアカマツ林)に植林を始めてから、 今年で１４年目となりました。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

２０１７年までに、５７９ｈａの土地に、１５４万本の植林をしました。

【今後の展望】

･幼稚園での教育を拡大

･エコロジー教育センターと協力して、市民への環境教育を普及

･ごみ問題など、生活に根差した環境事業の模索

･苗畑の自立

･幼稚園、孤児院、学校と協力して農業実習を進める

【今後の植林の課題】

･山火事対策の未整備

･干ばつへの対策

･家畜被害、違法伐採への対策

･植林→間伐→間伐材の活用

参加していただいた皆様、ありがとうございました。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

2018 年 GNC モンゴルエコツアー（9 月 14 日～9 月 16 日）報告

1　バヤンチャンドマン村　GNC 苗畑視察

【日時】
2018 年 9 月 14 日 11：00～
【場所】
トゥブ（中央）県バヤンチャンドマン村

【スタッフ】
高橋京子（GNC Japan　事務局長）
バスカ（GNC Mongolia　事務局長　男性）
オグナー（GNC Mongolia　森林・農場・苗畑担当　男性）
サラ（GNC Mongolia　森林・農場・苗畑担当　女性）

1）苗畑づくり

11 時にバヤンチャンドマン村にある GNC　Mongolia の苗畑に到着し、スタッフのオグナーさん、サラさんが成果を説明してくれ、全体を視察する。今年 5 月に植えたアカマツの苗木は残念ながら成長していない。種が良くなかったようだ。昨年植えた苗は順調で、来年の 5 月に植林することができる。

また今年 5 月に本施設で育てたハリス 1000 本とシャルホワス 1000 本をボルノール市の 80 周年イベントで市役所、学校、病院、幼稚園、市民ホールに植え、市民の皆さんに喜んでもらえた。

2017 年 5 月に植えられたアカマツの苗

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

２　セレンゲ県　植林地視察

【日時】
2018 年 9 月 15 日
12：00～（植林地：2015 年春）
12：35～（植林地：2014 年春）
13：00～（植林地：2018 年春）
15：00～（植林地：2016 年春）
15：30～（植林地：2017 年春）
16：30～（植林地：2008 年春）
16：50～（植林地：2011 年春）
17：15～（植林地：2007 年春）

2018 年 9 月 16 日
10：00～（植林地：2006 年春）
11：15～（植林地：2012 年春）
13：30～（植林地：2004 年春）
16：00～（植林地：2010 年春）
17：00～（植林地：2004 年秋）

【場所】
セレンゲ県トジンナルス他
【スタッフ】
高橋京子（GNC Japan　事務局長）
バスカ（GNC Mongolia　事務局長　男性）
オグナー（GNC Mongolia　森林・農場・苗畑担当　男性）
サラ（GNC Mongolia　森林・農場・苗畑担当　女性）
【参加者】
ジャムスレン（元・森林・動物センター長　男性）

１）森づくり
・2015 年、2014 年植林地
　活着率はいずれも 50%。整列して成長している。もう１mになるマツもあった。今年の伸びは良く、元気なマツも多く、今後の成長が期待できる。

・2018 年植林地

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

活着率は 90%で 4 ヶ月目とは思えないほど成長している。30cm を超える苗もあった。今年の雨が多かったためだ。地面に大きく溝を掘り、一番太陽が当たらない端の部分に苗木を植えている。日光の当たり過ぎを防ぎ乾燥を避けるためだ。大きな溝には雨が溜まり、乾燥を防げるようになっている。

・2016 年植林地

活着率は 75%、50cm を超えるマツもあり、順調に成長している。自然にマツが新しく生えて、花も咲いている。

・2017 年植林地

活着率 90%。植林した昨年は雨が少なく生育が心配されたが、今年の伸びは非常に良く、元気なマツも多い。

・2008 年、2011 年植林地

火事の跡地だが、復活し、成長している。4 メートルを超えるマツもあった。密度もあり、遠目からでも森になっていることが分かる。

・2007 年植林地

活着率は 70%。去年と比べても成長が大きい。4.5 メートルを超えるマツもあり、しっかりとした森になっていた。

・2006 年植林地

活着率 70%。5 メートルを超えるマツもあり、整列して成長するマツからは迫力を感じることができる。密度もあり安定した森になっている。

・2012 年植林地

活着率は 50%。3 メートルになるマツもあり、成長が期待できる。下草から顔を出し、まだ低くても存在感を出しているマツもたくさんある。遠くから見ても、小さい森があると分かる。

・2004 年春植林地

活着は 80%。5.6 メートルになるマツもあり、計測も難しいほど成長している。安定した立派な森で、ここから新しい森が広がる可能性も感じられる。

・2010 年植林地

活着率 60%。青々としたマツがきれいに整列して育っており、遠くから見ても植林の

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

成果が分かる。

・2004 年秋万博（2005 年愛・地球博のプレイベントの際の植林地）
活着率 20%。家畜に食べられている木もある。

植林時の様子(2018 年 5 月)

苗を溝の端に寄せて植え、乾燥を防ぐ

2017 年植林地

2018 年植林地

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

2004 年春植林地

2006 年春植林地

2007 年春植林地

2008 年春植林地

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

2010 年植林地

2012 年植林地

2014 年植林地

2016 年植林地

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

エコプロダクツ２０１８

【開催日時】
１２月６日(木)、１２月８日(土)　１０時～１７時
【会場】
東京ビッグサイト　東５ホール
ＧＮＣＪａｐａｎ出店場所：「森林（もり）からはじまるエコライフ展」
ブースＮｏ．Ｆ－２１

来場者数は下記の通りです。
12 月 6 日（木）　54,071 人　（2017 年：53,034 人）
12 月 7 日（金）　61,014 人　（2017 年：60,949 人）
12 月 8 日（土）　47,132 人　（2017 年：46,108 人）

GNC のブースに来てくださった皆様、ありがとうございました。
そして準備や段取り等で尽力してくださったスタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.